

【諸般の報告・その他の関係】

問 宇野 裕委員

緑化協定の見直しについては、工場を拡大したい企業にとって緑地を
使えるような方法で検討を重ねてきたが、この見直しによって工場敷地
の緑地を工場用地として有効活用できる面積は県全体でどのくらいふ
えるのか。

また、平成18年6月に千葉県地球温暖化防止計画を改定し、一方で
温室効果ガス削減に向けた県の姿勢と緑地を工場で使えるようにしよ
うという方向性が誤解を招くおそれがあるが、緑化協定の見直しに伴う
各工場への緑地保全の指導はどうか。

答 庄司自然保護課長

平成17年8月に実施したアンケート調査で回答があった474工場に
おける計算上の利用可能な面積は、工場専用地域で208ヘクタール、ま
た工業地域、準工業地域では10ヘクタール、あわせて218ヘクタール
となる。ただし、緑化協定の変更は、各工場において生産施設の増設な
ど緑地が変更される場合に工場から協議の申し出があって初めて行わ
れることとなる。

また、各工場から協議の申し出があった場合でも、緑地保全のため、
各工場には工場敷地内の周辺部に設置されている緑地についてはでき
るだけ保全に努めること、工場敷地内外で10%の樹木による緑地を確保
すること、努力目標として工場敷地内外で20%以上の緑地を確保するこ
とを求めることとし、今後とも緑地の保全に努めていく。

問 宇野 裕委員

第65回国民体育大会の愛称が「ゆめ半島千葉国体」に決まったとい
うことであるが、本県では「半島性からの脱却」がメインの課題である
のに、そこをあえて強調するというのは、逆手にとって観光などに力を
入れるということなのか。また、選考過程の中でその辺の議論は出なか

ったのか。

答 森田国体・全国障害者スポーツ大会局長

愛称の決定についてはまず、公募により集まった多くの作品の中から、選考委員会で10余りの候補に絞ってもらった。候補選考の過程で半島性についての議論もあったが、その後のはがきやインターネットによる選考投票で一番になったのがこの「ゆめ半島千葉国体」であり、平成18年3月に決定した。決まった以上はこの愛称を多くの人に知ってもらい、国体期間中は110万人を超える人が国体に参加するので、そういう人に対して千葉県のよさをわかってもらえるよう千葉県の魅力をPRしていきたい。

要望

【諸般の報告・その他の関係】

宇野 裕委員

国民体育大会について、「本県で開催するからには、半島性を逆手にとって、しっかり千葉県をアピールしてほしい。」との要望があった。
